KENWOOD

U393
U393R

MP3/WMA/WAV対応CDレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

GET0963-001A (JN)

もくじ

はじめに

基本操作

CD、iPod®/iPhone®、USBを聞く

ラジオを聞く

環境設定をする

困ったときは

取り付けかた

付録

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 注意	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
⃠ 禁止	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
❗ 実施	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

実施

交通事故防止のため、運転者が以下のような行為をするときは、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- カーオーディオの操作(音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど)

実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実施

USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。
- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

実施

修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意

注意

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

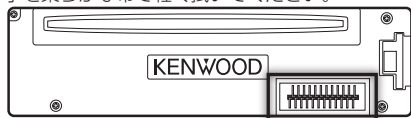
使用上のご注意

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

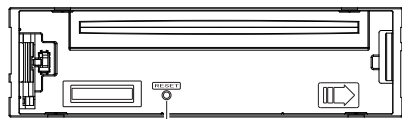
表示できる文字について
本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

使用できるリモコンについて
本機は、リモコンが使用できます。使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

お手入れについて
本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。
また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

パネルと本機の端子について
操作パネルと本体間のコネクター端子が汚れると電源が入らない、音が出ない、表示がおかしいなど故障と思われる症状になることがあります。この場合は、操作パネルおよび本体のコネクター端子を柔らかな布で軽く拭いてください。

コネクター端子

レンズクリーナーについて
レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

異常にお気づきのときは(リセット方法)
本機の異常にお気づきのときは、「故障かな?と思ったら」(P.22)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、「操作パネルを脱着する」(P.12)を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くのJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへ相談してください。
- CDが取り出せない。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合
ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送、交通情報以外に切り替えてください。

温度について
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機のリセットボタン(P.6)を押してください。

結露について

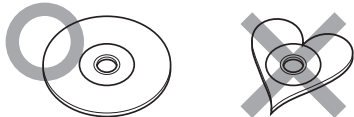
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店またはお近くのJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

デバイスの保管について

- USB機器、iPhone/iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPhone/iPodが変形や故障する場合があります。

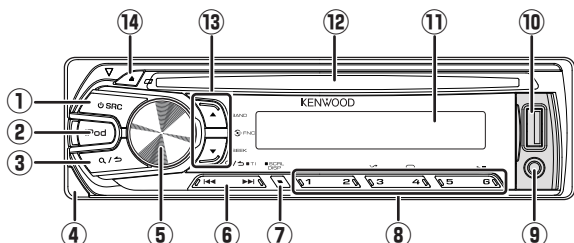
使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 特殊な形状のディスク。
  円形以外のディスクは、故障の原因になります。

- 記録面(レーベル面の裏)に着色や汚れがあるディスク。
  引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable　COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable マークのないディスク。
  正しく再生されない可能性があります。
- ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW。
  お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理(ファイナライズ処理)を行ってください。
  ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。
  音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。
  ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスクの使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

各部の名前とはたらき

番号	ボタン名/機能
①	**[SRC]ボタン** ● 本機の電源をオンします。押し続けると、本機の電源をオフします。（P.10） ● ラジオやCDなどの音源を切り替えます。（P.10）
②	**[iPod]ボタン** ● 音源をiPodに切り替えます。 ● iPod/iPhone再生中は、ボタンを押すごとにコントロールモード（APP&iPod）の設定が切り替ります。選曲などの操作を、本機からのみ操作できるMODE OFFとiPod/iPhoneから操作できるMODE ONの2つのモードを切り替えます。（P.11）
③	**[Q/⮌]ボタン** ● CDやオーディオファイル再生時に、曲を検索します。（P.15） ● 設定操作中、一つ前の項目に戻ります。（P.10） ● オーディオファイル検索時は、一つ上のフォルダに戻ります。（P.15） ● 設定モードやオーディオコントロールモードまたはミュージックサーチモード以外のときに押し続けると、交通情報を受信します。（P.12）
④	**リリースボタン** 押すと、操作パネルが取り外せます。（P.12）

番号	ボタン名/機能
⑤	**[FNC]ノブ** ● 左右に回して、音量を調節します。（P.10） ● 押して設定モードに入り、左右に回して項目を選択します。最後に押してその項目の設定を確定します。（P.10） ● CDやオーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを確定します。（P.15 ～ P.16）
⑥	**[⏮]/[⏭]ボタン** ● ラジオの周波数を切り替えます。（P.17） ● [⏮]を押すと、手前の曲を再生します。 ● [⏭]を押すと、先の曲を再生します。 ● 押し続けると、早戻し/早送りします。
⑦	**[DISP]ボタン** ● 時計や、再生中の音源の情報を切り替えます。（P.14, P.17） ● タイトル表示中に押し続けると、再生中の曲タイトルなどをスクロールします。 ● 時計表示中に押し続けると、時計調整モードに切り替わります。
⑧	**[1] ～ [6]ボタン** ● ラジオでは、よく聞く放送局を登録しておくことができます。（P.18） ● CDやオーディオファイルの再生中は、リピート再生など、再生方法を変更します。（P.15） ● CDやiPod/iPhone、オーディオファイル再生時に[6]を押すと、一時停止/再生します。

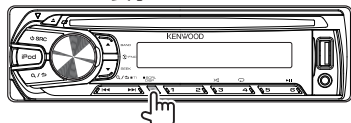
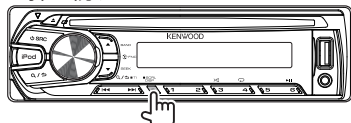
番号	ボタン名/機能
⑨	**AUX端子** ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.12)
⑩	**USB端子** USB機器、iPod/iPhoneを接続します。(P.11)
⑪	**ディスプレイ** 時計や再生中の曲タイトルなど、本機の動作内容を表示します。
⑫	**ディスク挿入口** CDのタイトル面を上にして差し込みます。(P.10)
⑬	**[▲]/[▼](バンド/シーク)モードボタン** ● ラジオ受信時に、[▲]を押してバンドを選択します。 また、[▼]を押してシークモードを選択します。(P.17) ● オーディオファイルの再生中は、フォルダを選択します。
⑭	**[≜]ボタン** CDを取り出します。CDを排出したままにすると、約15秒で自動的に引き込まれます。

時計調整をする

本機をご使用になる前に、曜日･時計を調整します。

1 [SRC]を押す

電源がオンになります。

2 [DISP]を数回押して、ディスプレイに“CLOCK”と表示させる

3 曜日・時計表示が点滅するまで[DISP]を押し続ける

4 [FNC]ノブを回して「曜日」を調整して、[FNC]ノブを押す

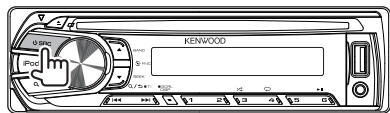
5 [FNC]ノブを回して「時」を調整して、[FNC]ノブを押す

6 [FNC]ノブを回して「分」を調整して、[FNC]ノブを押す

時計調整が終了します。

基本操作

電源をオン/オフする

1 [SRC]を押す

本機の電源がオンになります。

[SRC]を押し続けると、本機の電源がオフになります。

音量を調整する

1 [FNC]ノブを回す

音源を切り替える

1 [SRC]を聞きたい音源が表示されるまで数回押す

表示	音源
STANDBY	何も再生していない状態
TUNER	ラジオ
USB	USB機器
iPod	iPod, iPhone
CD	ディスク
AUX	外部機器

メモ

● 以下の音源は、再生の準備ができていない場合は表示されません
– “iPod”：iPod/iPhoneが接続されていない場合。
– “CD”：ディスクが本機に挿入されていない場合。

設定項目を選択する

設定項目や曲を選択するときは、下記の操作方法で行います。

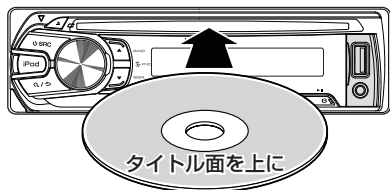
1 [FNC]ノブを押す

2 [FNC]ノブを回して、表示を切り替える

3 [FNC]ノブを押して、表示された項目を決定する

手順2～3を繰り返して、項目や曲などを設定、選択します。
1つ前の項目に戻るときは、[Q/⮌]を押します。

CDを再生する

1 CDをディスク挿入口に差し込む

CDが吸い込まれ、再生が始まります。

✎メモ

● オーディオファイルが記録されたCDも再生できます。「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.13)をご覧ください。

- CDの詳しい再生操作は「CD、iPod®/iPhone®、USBを聞く」(P.13)をご覧ください。

ラジオを受信する

1 [SRC]を"TUNER"と表示されるまで数回押す

ラジオの受信が始まります。

メモ

- バンドや放送局の選び方などは「ラジオを聞く」(P.17)をご覧ください。

iPod/iPhoneを聞く

iPod/iPhoneを本機に接続して音楽を聞きます。

1 端子のカバーを開く

2 iPod/iPhoneをiPod接続ケーブルKCA-iP102 (別売品)を使用して、USB端子に接続する

iPod/iPhone内の曲の再生が始まります。

iPod/iPhoneを取り外す

1 [SRC]を押して"iPod"以外の音源にする

2 iPod/iPhoneを取り外す

iPod/iPhoneで選曲可能なモードにする

1 音源が"iPod"のときに、"MODE ON (OFF)"と表示されるまで[iPod]を押し続ける

[iPod]を押すたびにApp & iPodコントロールモードがオンとオフに切り替わります。
"ON":iPod/iPhoneから選曲できます。
"OFF":本機から選曲できます。

✎メモ

- Lightning™コネクタ搭載デバイスを接続する場合は、KCA-iP102 (別売品)のほかにLightning - 30ピンアダプタ(Apple®製)が必要です。
なお、Lightning to 30-pin Adapterは車内に放置しないでください。熱による故障の原因となります。
- APP & iPodコントロールモードがオンのときでも、本機から一時停止、再生、早送り、早戻し、曲のスキップができます。
- iPod/iPhoneの詳しい操作などについては「CD、iPod®/iPhone®、USBを聞く」(P.13)をご覧ください。
- iPod/iPhone接続中は、iPod/iPhoneが充電されます。(本機の電源オン時のみ。最大供給電流: 1A)

USB機器を聞く

USBメモリーなどを本機に接続して音楽を聞きます。

1 端子カバーを開く

2 USB機器をUSB接続ケーブル(別売品)を使用して、USB端子に接続する

USB機器内のオーディオファイルの再生が始まります。

USB機器を取り外す

1 [SRC]を押して"USB"以外の音源にする

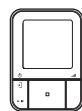
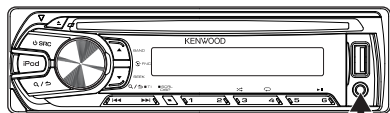
2 USB機器を取り外す

✎メモ

- 接続に使用するUSB接続ケーブル(別売品)には、CA-U1EX (最大電流500mA)を推奨します。
- 充電式のUSB機器を接続中は、USB機器が充電されます。(本機の電源オン時のみ)
- 再生できるオーディオファイルについては「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.13)をご覧ください。
- オーディオファイルの詳しい再生操作は「CD、iPod®/iPhone®、USBを聞く」(P.13)をご覧ください。

外部機器を聞く

1 端子カバーを開く

2 AUX端子に市販のステレオミニプラグケーブル(3.5φ、3極)を差し込む

3 ステレオミニプラグケーブルを外部機器のヘッドホン端子に接続する

4 [SRC]を“AUX”と表示されるまで数回押す

外部機器が本機から再生されます。

✎メモ

- AUX音源にしたときに音量が変わる場合は、「音質の調整をする」(P.19)の“VOL OFFSET”を調整してください。

交通情報を聞く

1 [Q/⮌]を押し続ける

交通情報を受信します。
交通情報受信中は“TI”表示は点灯します。
もう一度[Q/⮌]を押し続けると、交通情報受信前の状態に戻ります。

✎メモ

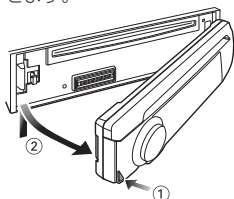
- 交通情報局を受信中に[|◀◀]/[▶▶|]を押すと、受信周波数が522kHz、1620kHz、または1629kHzに切り替わります。
- 交通情報を受信中に音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聞くことができます。

操作パネルを脱着する

本機は、盗難防止のため、操作パネル部分を取り外すことができます。車から離れる際は、操作パネルを本機から取り外して携帯していただくことをおすすめします。

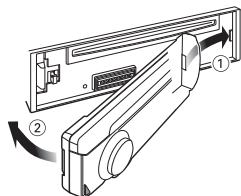
操作パネルを取り外す

1 リリースボタンを押す

電源がオフになります。
パネルのロックが解除され、パネルが取り外せます。

✎メモ

- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりのかかる場所

操作パネルを取り付ける

1 パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせる

2 パネルの左側を本体に合わせて押す

パネルがロックされ、本機が使用できるようになります。

CD、iPod®/iPhone®、USBを聞く

本機で使えるメディアとオーディオファイル

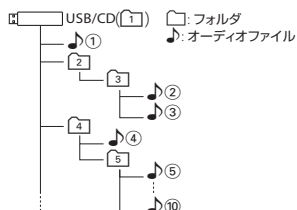
本機で使用できるメディアやオーディオファイル、デバイスの種類は下記の通りです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Long file name
USB機器	USBマスストレージクラス
USB機器ファイルフォーマット	FAT12、FAT16、FAT32
オーディオファイル	MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、WAV (USB機器のみ) (.wav)

✎メモ

- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよび機器の種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- オーディオファイルは、あらかじめバックアップを行ってください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしませんのでご了承ください。
- オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを下記URLにて公開しています。
www.kenwood.com/cs/ce/audiofile/
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。

オーディオファイルの再生順序

下図の例では、①から⑩の順で再生されます。

ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
また、KENWOOD Music Editor Light（下記）を使用してデータベースを作成することにより、希望の順序で再生が可能となる場合があります。

KENWOOD Music Editor Light/ KENWOOD Music Controlについて

- 本機は、PCアプリケーション"KENWOOD Music Editor Light"とAndroid™アプリケーション"KENWOOD Music Control"に対応しています。
- "KENWOOD Music Editor Light"または"KENWOOD Music Control"を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。
- "KENWOOD Music Editor Light"および"KENWOOD Music Control"は、下記URLからダウンロードできます。
www2.jvckenwood.com/products/car_audio/app/

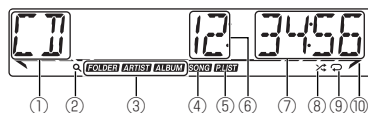
本機で使えるiPod/iPhone

本機から操作できるiPod/iPhoneは以下の通りです。

Made for
- iPod nano (7th generation)
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod classic
- iPod touch (5th generation)
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 5
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

✎メモ
- iPod/iPhoneの接続にはiPod接続ケーブル KCA-iP102 (別売品)が必要です。
  さらにLightning™コネクタ搭載デバイスを接続する場合は、Lightning - 30ピンアダプタ(Apple® 製)が必要です。
- 本書で断りの無い限り、「iPod/iPhone」と呼んでいるのはiPod接続ケーブル KCA-iP102 (別売品)で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。
- iPod/iPhoneを接続すると、本機での再生はiPod/iPhoneで再生していた曲から始まります。
- iPod/iPhoneに"アクセサリが接続中"または"KENWOOD"と表示されているときは、iPod/iPhoneの操作はできません。
- iPod/iPhoneのソフトウェアに関する適合情報は下記URLを参照してください。
  www.kenwood.com/cs/ce/ipod/
- 接続しているiPod/iPhoneにより、使用できる機能が異なります。詳しくは下記URLを参照してください。
  www.kenwood.com/cs/ce/ipod/

再生中の表示

CD、オーディオファイル、iPod/iPhoneを再生中は、下記の表示がされます。

番号	ボタン名/機能
①	音源表示
②	選曲(ミュージックサーチ、スキップサーチ、アルファベットサーチ)のときに点灯します。
③	ミュージックサーチ中に、表示している情報の種類を表示します。
④	再生中に点灯します。 選曲のときは、曲リスト表示中に点灯します。
⑤	ミュージックサーチ中にプレイリスト項目を選択すると点灯します。
⑥	再生中の曲番号表示。
⑦	再生時間
⑧	ランダム再生のときに点灯します。
⑨	リピート再生のときに点灯します。
⑩	ミュージックサーチ中に、表示している名称の種類を示します。 フォルダ名表示時：←…→ ファイル名表示時：←

表示の切り替えかた

音源ごとに表示される情報を切り替えます。

1 [DISP]を押す

押すごとに表示が以下のように切り替わります。

CD：
ディスク名(DISC TITLE)→トラック名(TRACK TITLE)→曲番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

オーディオファイル：
曲名とアーティスト名(TITLE/ARTIST)→アルバム名とアーティスト名(ALBUM/

ARTIST)→フォルダ名(FOLDER NAME)→ファイル名(FILE NAME)→ファイル番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

iPod/iPhone：
曲名とアーティスト名(TITLE/ARTIST)→アルバム名とアーティスト名(ALBUM/ARTIST)→ファイル番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

外部機器再生/STANDBY（何の音源も選択していない状態）：
音源名(SOURCE NAME)→時計(CLOCK)

いつもと違う曲順で聞く（ランダム再生）

再生する曲を順不同で選び再生します。

1 [3]を押す

ランダム再生が始まります。CDやフォルダー内の曲を順不同に再生します。

メモ

- オーディオファイル、iPod/iPhoneの全曲を順不同に再生したい場合は、“ALL RANDOM”と表示されるまで[3]を押し続けます。
- ランダム再生を終了するときは、[3]を押します。
- デバイスに収録されている曲が多い場合は、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかります。

同じ曲を繰り返し聞く（リピート再生）

再生中の曲を繰り返し再生します。

1 [4]を押す

現在再生中の曲のリピート再生が始まります。

メモ

- 再生中のオーディオファイルが入っているフォルダの全曲を、繰り返し再生したい場合は、“FOLD REPEAT”と表示されるまで[4]を数回押します。
- リピート再生を終了するときは、“REPEAT OFF”と表示されるまで[4]を数回押します。

タイトル表示から曲を探す（ミュージックサーチ）

曲名やフォルダ名などの表示から、聞きたい曲を探します。

1 [Q/↩]を押す

2 以下の操作で聞きたい曲を探す

CDの場合

動作	操作
トラック表示の切り替え	[FNC]ノブを回す。
表示トラックの再生	[FNC]ノブを押す。
最初のトラックに戻る	[5]を押す。

オーディオファイルの場合

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	[FNC]ノブを回す。
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	[FNC]ノブを押す。
前のフォルダに戻る	[Q/↩]を押す。
最上位のフォルダに戻る	[5]を押す。

iPod/iPhoneの場合

動作	操作
項目、曲名表示の切り替え	[FNC]ノブを回す。
表示項目の選択または表示曲の再生	[FNC]ノブを押す。
前の項目に戻る	[Q/↩]を押す。
最初のメニューに戻る	[5]を押す。

メモ

- ミュージックサーチを中止するときは、[Q/↩]を解除するまで数回押します。

次ページに続く ▶▶▶

- iPod/iPhoneの場合、曲名などで表示できない文字は空白となります。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示されます。

項目	表示
プレイリスト	“PLIST***”
アーティスト	“ART***”
アルバム	“ALB***”
曲名やファイル名	“PRGM***”
ポッドキャスト	“PDCT***”
ジャンル	“GEN***”
作曲者	“COM***”

すばやくスクロールして曲を探す（スキップサーチ）

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。
iPod/iPhoneやKENWOOD Music Editor Light、KENWOOD Music Controlで作成したUSB機器でのみ使用できる機能です。

1 [Q/⮌]を押す

2 [5]を押す
最初のメニュー項目に戻ります。

3 [FNC]ノブを回してリストを選び、[FNC]ノブを押す

4 [|◀◀]/[▶▶|]を押して、曲、リストを探す

5 [FNC]ノブを押す
選んだ曲の再生が始まります。
リストのときは、リストが選ばれます。

✎メモ

- スキップする割合は、「機能ごとの設定をする」（P.20）の“SKIP SEARCH”で設定できます。
- [|◀◀]/[▶▶|]を押し続けると、設定に関係なく10%の割合で曲をスキップして表示します。例えば選択したリスト内の曲が100曲の場合、10曲ずつスキップします。

文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）

選択中のリスト項目から、指定した文字を含む曲を検索します。
iPod/iPhoneでのみ使用できる機能です。

1 [Q/⮌]を押す

2 [5]を押す
最初のメニュー項目に戻ります。

3 [FNC]ノブを回してリストを選び、[FNC]ノブを押す

4 [FNC]ノブを素早く回す
アルファベットサーチモードに入ります。

5 [FNC]ノブを回して文字を選ぶ

6 [|◀◀]/[▶▶|]を押して、入力値にカーソルを移動する
手順５～６を繰り返して、３文字まで入力できます。

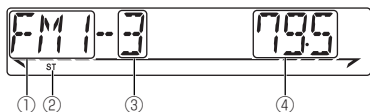
7 [FNC]ノブを押す
検索が開始され、該当する曲のリストが表示されます。

✎メモ

- アルファベットサーチを中止するときは、[Q/⮌]を押します。
- 検索できる文字は、A～Z および 0～9 です。A～Z および 0～9以外の文字で始まる曲を検索したいときは「＊」を1文字目に入力します。「＊」を入力すると、2～3文字目は入力できません。
- a, an, theのような冠詞や記号、スペースは検索対象になりません。それらで始まる曲を探す場合は、その後に続く文字を入力してください。

ラジオを聞く

ラジオ受信中の表示

ラジオを受信中は、下記の表示がされます。

番号	ボタン名/機能
①	バンド表示
②	ステレオ放送を受信中に点灯します。
③	受信中のプリセットチャンネル番号
④	周波数表示

表示の切り替えかた

表示される情報を切り替えます。

1 [DISP]を押す

押すごとに表示が、
周波数表示(FREQUENCY)と
時計表示(CLOCK)に切り替わります。

聞きたい放送局を自動で探す

1 [▲]を押して、聞きたいバンドを受信する

押すたびに、FM1 ➡ FM2 ➡ AM1 ➡ AM2 ➡ FM1…の順に切り替わります。

2 [|◀◀]または[▶▶|]を押す

受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

✎メモ

- 自動選局を中止するときは、[|◀◀]または[▶▶|]を押します。
- 手動で周波数を合わせたいときは、「放送局の探し方を設定する」(P.17)を"MANUAL"に設定して、[|◀◀]/[▶▶|]を押します。

放送局の探し方を設定する

1 [▼]を押して、シークモードを選ぶ

押すたびに、以下の設定に切り替わります。

AUTO1：放送局を自動的に受信します。(初期設定)

AUTO2：登録されている放送局を順番に受信します。

MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。

放送局を自動登録する(オートメモリー)

1 [▲]を押して、登録したいバンドを受信する

押すたびに、FM1 ➡ FM2 ➡ AM1 ➡ AM2 ➡ FM1…の順に切り替わります。

2 [FNC]ノブを押す

"FUNCTION"と表示されます。

3 [FNC]ノブを回して"TUNER SETTING"を選び、[FNC]ノブを押す

4 [FNC]ノブを回して"AUTO MEMORY"を選び、[FNC]ノブを押す

5 [FNC]ノブを回して"YES"を選び、[FNC]ノブを押す

受信状態の良い放送局が、[1]～[6]ボタンに自動的に登録されます。(最大6局)

✎メモ

- バンドごとに、6局の放送局を登録できます。オートメモリーと手動登録は、どちらか最後に登録したものが有効になります。
- 「機能ごとの設定をする」(P.20)の"PRESET TYPE"が"MIX"に設定されているときは、オートメモリーはできません。

放送局を一局ずつ登録する（手動登録）

1 登録したい放送局を受信する

2 [1] ～ [6]を“STORED”と表示されるまで押し続けます

受信している放送局が押した[1] ～ [6]に登録されます。

登録した放送局を呼び出す

1 [▲]を押して、呼び出したいバンドを受信する

押すたびに、FM1 ➡ FM2 ➡ AM1 ➡ AM2 ➡ FM1…の順に切り替わります。

2 聞きたい放送局が登録されている[1] ～ [6]を押す

登録している放送局を受信します。

✎メモ

- 登録している放送局を順に受信したい場合は、「放送局の探し方を設定する」（P.17）を“AUTO2”に設定します。[▶▶|]を押すごとに放送局を順に受信します。

お気に入りの放送局を登録してワンタッチで呼び出す（Mixed Preset Memory）

放送局の登録・呼び出しにAM/FMの区分けをなくします。このためバンドを切り替えることなく、希望する放送局の登録・呼び出しができます。

Mixed Preset Memoryモードにする

1 “STANDBY”と表示されるまで、[SRC]を数回押す

2 [FNC]ノブを押す

“FUNCTION”と表示されます。

3 [FNC]ノブを回して“TUNER SETTING”を選び、[FNC]ノブを押す

4 [FNC]ノブを回して“PRESET TYPE”を選び、[FNC]ノブを押す

5 [FNC]ノブを回して“MIX”を選び、[FNC]ノブを押す

6 [🔍/⮌]を終了するまで数回押す

Mixed Preset Memoryモードになりました。

✎メモ

- Mixed Preset Memoryモードを解除したい場合は、手順５で“NORMAL”選択します。

放送局を登録する

1 登録したい放送局を受信する

2 [1] ～ [6]を“STORED”と表示されるまで押し続ける

受信している放送局が押した[1] ～ [6]に登録されます。

登録した放送局を呼び出す

1 “TUNER”と表示されるまで、[SRC]を数回押す

2 聞きたい放送局が登録されている[1] ～ [6]を押す

登録している放送局を受信します。

環境設定をする

音質の調整をする

音響効果などを設定します。

1 いずれかの音源を再生中に、[FNC]ノブを押す
“FUNCTION”と表示されます。

2 [FNC]ノブを回して“AUDIO CONTROL”を選び、[FNC]ノブを押す

3 [FNC]ノブを回して設定項目を選び、[FNC]ノブを押す
各項目の詳細な設定内容については、後記の表をご覧ください。
太字は設定値です。

4 [FNC]ノブを回して設定値を選び、[FNC]ノブを押す

5 [Q/⮌]を終了するまで数回押す

BASS LEVEL
低音域の音量を調整します。調整値が、ディスプレイ右端の7つのバーで示されます。 **－8 ～＋6**（初期設定）**～＋8**

MID LEVEL
中音域の音量を調整します。調整値が、ディスプレイ右端の7つのバーで示されます。 **－8 ～ +5**（初期設定）**～＋8**

TRE LEVEL
高音域の音量を調整します。調整値が、ディスプレイ右端の7つのバーで示されます。 **－8 ～ 0**（初期設定）**～＋8**

dB EQ
音楽に合わせてあらかじめ設定された音質を選択します。BASS LEVEL、MID LEVEL、TRE LEVELを調整すると「USER」設定になります。 **DRIVE EQ**（初期設定）**/ DANCE/ POWERFUL/ ROCK/ VOCAL/ EASY/ JAZZ/ NATURAL/ USER**[1]

BASS BOOST
低音を増強するレベルを設定します。 **OFF**（初期設定）**/ LV1/ LV2/ LV3**

LOUDNESS
小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低域と高域の音量を補正します。 **OFF/ LV1**（初期設定）**/ LV2**

FADER
前後の音量バランスを調整します。調整値が、ディスプレイ右端の7つのバーで示されます。 **F15 ～ 0**（初期設定）**～ R15**

BALANCE
左右の音量バランスを調整します。調整値が、ディスプレイ右端の7つのバーで示されます。 **L15 ～ 0**（初期設定）**～ R15**

VOLUME OFFSET
音源ごとの音量差を調整します。 音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聞くことができます。 **AUX：－8 ～ 0**（初期設定）**～＋8** **その他：－8 ～ 0**（初期設定）

SOUND RECNSTR (Sound Reconstruction)
ONに設定すると、低ビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を補完します。圧縮オーディオファイル再生時のみ設定できます。 **ON**（初期設定）**/OFF**

SP SELECT（“STANDBY”のみ）
イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。 **STANDARD**：標準的なスピーカーに合う設定です。（初期設定） **MIDDLE**：低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定です。 **WIDE**：低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定です。 **NARROW**：周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定です。

✎メモ

- 設定操作中に、[Q/⮌]を押すと1つ前の項目に戻ります。
- [1] “USER”設定は、“BASS LEVEL”、“MID LEVEL”、“TRE LEVEL”の調整した値が呼び出されます。

機能ごとの設定をする

機能ごとに用意されている設定を変更します。

1 設定を変更する音源を再生中に、[FNC]ノブを押す

“FUNCTION”と表示されます。

2 [FNC]ノブを回して設定する機能を選び、[FNC]ノブを押す

表示機能設定：“DISPLAY”を選択
ラジオ機能設定：“TUNER SETTING”を選択
USB, iPod/iPhone機能設定：“USB”を選択
システム機能設定：“SYSTEM”を選択
時計調整機能：“CLOCK”を選択

3 [FNC]ノブを回して設定項目を選び、[FNC]ノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、後記の表をご覧ください。
太字は設定値です。

4 [FNC]ノブを回して設定値を選び、[FNC]ノブを押す

5 [🔍/⮌]を終了するまで数回押す

表示機能設定 “DISPLAY”

DIMMER
ディスプレイの明るさを設定します。 **ON**：暗くなります。 **OFF**：“BRIGHTNESS”（下記）で設定した明るさになります。（初期設定）
BRIGHTNESS
ディスプレイの明るさを設定します。 **00 ～ 31**（初期設定）
TEXT SCROLL
ディスプレイに表示される文字が多い場合、文字をスクロールして表示させます。 **AUTO**：スクロールを繰り返し行います。 **ONCE**：表示が変わったときに１回スクロールします。（初期設定） **OFF**：自動ではスクロール表示をしません。

ラジオ機能設定 “TUNER SETTING”

AUTO MEMORY（“TUNER”のみ）
オートメモリーを実行します。詳しくは「放送局を自動登録する」（P.17）をご覧ください。
MONO SET（“TUNER”のみ）
FMステレオ放送をモノラルで受信します。 受信状態の悪いFM放送局を聞いているときに設定をONにすると、雑音が軽減されて聞きやすくなることがあります。 **ON / OFF**（初期設定）
PRESET TYPE（“STANDBY”のみ）
放送局の登録・呼び出しに関してAMとFMの区分けを無くします。 **NORM**：AM1、AM2、FM1、FM2の各バンド別に６つの放送局を登録できます。（初期設定） **MIX**：全バンド共通の６つの放送局を登録できます。

USB, iPod/iPhone機能設定 “USB”

DRIVE CHANGE（“USB”のみ）
接続しているUSB機器内に複数のドライブがある場合、この項目を選択すると再生するドライブが切り替わります。
SKIP SEARCH（“USB”[1], “iPod”のみ）
スキップサーチするときのスキップする割合を設定します。詳しくは「すばやくスクロールして曲を探す」（P.16）をご覧ください。 **0.5%**（初期設定）**/ 1% / 5% / 10%**

システム機能設定 “SYSTEM”

KEY BEEP (“STANDBY”のみ)
操作時のビープ音を設定します。 **ON** (初期設定)/ **OFF**

SRC SELECT	BUILT-IN AUX (“STANDBY”のみ)
	音源選択時にAUXが表示されます。 **ON**：AUX音源に切り替えたときに、内蔵AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。(初期設定) **OFF**：内蔵AUX端子を使用しないときに選択します。

CD READ (“STANDBY”のみ)
CDの読み込み方法を設定します。 特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。 **1**：通常はこちらでご使用ください。(初期設定) **2**：音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。

F/W UPDATE (“STANDBY”のみ)
ファームウェアをアップデートします。 アップデートに関する情報は、 **www2.jvckenwood.com/cs/car/** をご覧ください。

AUX NAME SET (“AUX”のみ)
ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。 **AUX** (初期設定) / **DVD** / **PORTABLE** / **GAME** / **VIDEO** / **TV**

時計調整機能 “CLOCK”

CLOCK ADJUST
本機の時計を合わせます。 時計が表示された後は、「時計調整をする」(P.9)の手順４～５を参照して調整してください。

CLOCK FORMAT
時計の表示方法を設定します。 **12H** (初期設定) / **24H**

✎メモ

- 設定操作中に、[Q/⮌]を押すと1つ前の項目に戻ります。
- [1] KENWOOD Music Editor Light、KENWOOD Music Controlで作成したUSB機器を聞いているときに設定できます。

困ったときは

故障かな?と思ったら

本機に異常を感じたときは、まず次の表を参照して解決方法をお調べください。

電源が入らない、音が出ない、表示がおかしい

操作パネルと本体間のコネクタ端子が汚れて接触不良が発生しています。

☞「パネルと本機の端子について」(P.6)を参照して、操作パネル側のコネクタ端子を柔らかな布で軽く拭いてください。

操作ボタンを押しても動作しない

システムに異常が発生しています。

☞「異常にお気づきのときは(リセット方法)」(P.6)を参照してリセットボタンを押してください。

ラジオの感度が悪い
FMは受信するが、AMは受信しない

アンテナコントロール電源が接続されていません。

☞「配線のしかた」(P.26)を参照して、正しく接続し直してください。

ディスクが取り出せない

ディスクが排出の途中で止まっています。

☞ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。

CDやオーディオファイルを再生できない

ディスクが異常に汚れてます。

☞「ディスクの使用上のご注意」(P.7)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。

オーディオファイル再生中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがあります。

☞「ディスクの使用上のご注意」(P.7)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。

ディスク作成時に問題が発生しました。

☞ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。

フォルダ検索をすると雑音が出る

オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。

☞オーディオファイルが入っていないフォルダは作成しないでください。

メッセージが表示されたら…

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

COPY PRO

再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

☞ファイルのコピープロテクトを解除してください。

NA FILE

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしました。

☞「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.13)を参照して、本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。

NO DISC

本機にディスクが入っていません。

☞ディスクを入れてください。

READ ERROR

接続しているUSB機器のファイルシステムが破損しています。

☞USB機器のファイル、フォルダをコピーし直してください。それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器をフォーマットするか、他のUSB機器を使用してください。

TOC ERROR

ディスクに傷や汚れがあります。

☞「ディスクの使用上のご注意」(P.7)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。

ディスクが裏返しになっています。

☞ディスクを正しい向きで挿入し直してください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。
以下の処置にしたがって対応してください。処置を施してもエラーメッセージが表示される場合は、お買上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

PLEASE EJECT

本機が正常に動作していません。
☞ イジェクトボタンを押してください。
それでも表示が消えないときは「異常にお気づきのときは(リセット方法)」(P.6)を参照してリセットボタンを押してください。

iPod ERROR

iPod/iPhoneとの接続に不具合が発生しています。
☞「本機で使えるiPod/iPhone」(P.14)を参照して、接続しているiPod/iPhoneが本機で使える機種か確認してください。
☞ iPod/iPhoneをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。
☞ iPod/iPhoneを本機から取り外し、iPod/iPhoneのリセットを行った後、再度本機に接続してください。iPod/iPhoneのリセット方法についてはiPod/iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

NA DEVICE

サポートされていないUSB機器またはiPod/iPhoneを接続しました。
☞「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.13)または「本機で使えるiPod/iPhone」(P.14)を参照して、接続したUSB機器、iPod/iPhoneが本機で使える機種か確認してください。

USB機器、iPod/iPhoneの接続に失敗しました。
☞ USB機器またはiPod/iPhoneを接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。

NO DEVICE

USB機器またはiPod/iPhoneが接続されていないときに、音源をUSBまたはiPodに切り替えました。
☞ USB、iPod以外の音源に変えてください。その後、USB機器、iPod/iPhoneを接続し、再度音源をUSB、iPodにしてください。

NO MUSIC / ERROR 15

接続したUSB機器、iPod/iPhoneには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。
☞ 再生可能なフォーマットのオーディオファイルが入ったUSB機器、iPod/iPhoneを接続してください。

PROTECT

スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。
☞ スピーカーコードを適切に配線、絶縁し直してから、「異常にお気づきのときは(リセット方法)」(P.6)を参照してリセットボタンを押してください。

READING

ディスクに収録されているデータのチェック中です。
☞ チェックが終了後、再生が始まります。

USB ERROR

接続されているUSB機器、iPod/iPhoneに不具合が発生した可能性があります。
☞ USB機器、iPod/iPhoneを取り外し、電源をオフにした後、再度オンにしてください。それでも表示が消えない場合は、他のUSB機器、iPod/iPhoneをお使いください。

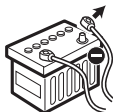
取り付け上のご注意

本機を車両に取り付ける前に次の事項を必ず守り、正しく取り付けてください。
また安全にご使用いただくため「使用上のご注意」(P.6)をご使用の前によくお読みください。

⚠ 警告

禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本機はDC12V ⊖アース車専用です。

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

本機の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

本機を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

バッテリー電源(黄)を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量(10A)以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

本機の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災·感電の原因となります。

禁止

本機を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

禁止

アースコードを､ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

注意

本機、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

本機は自動車のコンソールに設置してください。
本機の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

バッテリーの⊖端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

配線のしかた

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

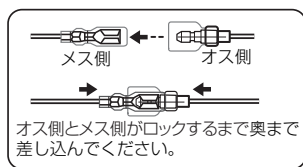
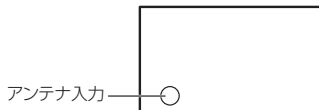
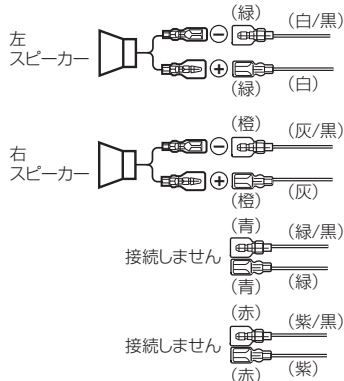
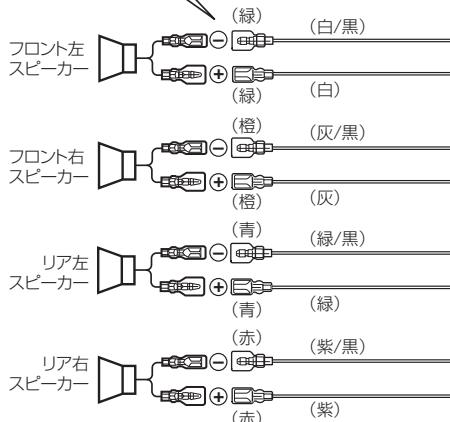
1 エンジンキーを抜きます。
2 バッテリーの ⊖ 端子を外します。
3 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
4 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
5 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリー電源コード(赤)の順に接続します。
6 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
7 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
8 電源をオンします。
9 本機のリセットボタン(P.6)を押します。

2 スピーカー時のスピーカー接続方法

左スピーカー
(緑) (白/黒)
(緑) (白)

右スピーカー
(橙) (灰/黒)
(橙) (灰)

接続しません
(青) (緑/黒)
(青) (緑)

接続しません
(赤) (紫/黒)
(赤) (紫)

注意 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

注意
・スピーカーコードの ⊕ ⊖ 端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
・複数のスピーカーコードの ⊖ 端子を共通にして接続しないでください。

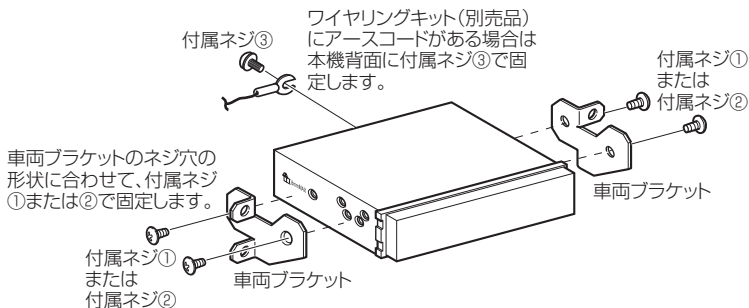
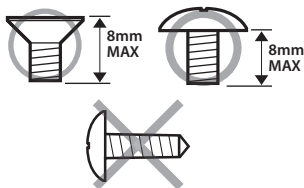
ヒューズ(10A)
注意
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。
電源ハーネス
(付属品)
注意 電源ハーネスは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
アンテナコントロール(青)
ANT CONT
ガラスプリントアンテナ、ショートポールアンテナのブースターアンプの電源端子やオートアンテナのコントロール端子に接続してください。(12V DC、300mA以内でご使用ください)
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
(青/白)
P.CONT
使用できません。
(茶)
MUTE
使用できません。
アクセサリー電源(赤) ⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
ACC
バッテリー電源(黄) ⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT
アース(黒) ⊖
車の金属部分(バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部)へ接続してください。
アクセサリー電源
エンジンキー
ヒューズ
バッテリー電源
メインヒューズ
バッテリー

本体の取り付けかた

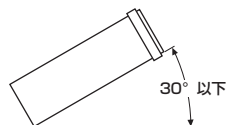
本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。
使用するのは、付属のトラスネジ(M5×6mm)またはサラネジ(M5×7mm)を4本です。

✎メモ

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

本機に付属しているネジ

①		トラスネジ(M5×6 mm)	4本
②		サラネジ(M5×7 mm)	4本
③		セムスネジ(M4×8 mm)	1本

- 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って本体の取り付け、取り外しをしないでください。破損することがあります。

用語集

MP3（エムピースリー）

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。
使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.13）をご覧ください。

WMA（Windows Media™ Audio）

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows MediaTM Audio」の略称です。
本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。
使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.13）をご覧ください。

WAV（RIFF waveform Audio Format）

米国マイクロソフト社と米国IBM社が開発した音声データのフォーマットです。
使用できるWAV収録メディアの種類やフォーマットなどは「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.13）をご覧ください。

DRIVE EQ（Drive Equalizer）

ロードノイズからの影響が軽減される音質設定です。

商標

- Windows MediaTM は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
  Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
  Lightning is a trademark of Apple Inc.
- Androidは、Google Inc.の登録商標です。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

保証書
この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買上げの日より**1年**です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
  www2.jvckenwood.com/cs/service.html
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
  フリーダイヤル 0120-2727-87
  携帯電話、PHSからは 045-450-8950
  (受付時間などは裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.22)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は...
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間
本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  (本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- **技術料**：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代**：修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

仕様

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76.0 MHz ～ 90.0 MHz
周波数ステップ	100 kHz
実用感度 (S/N : 26 dB)	8.2 dBf (0.71 μV/75 Ω)
DIN S/N 46 dB感度	17.2 dBf (2.0 μV/75 Ω)
周波数特性 (±3.0 dB)	30 Hz ～ 15 kHz
S/N比	64 dB (MONO)
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部	
受信周波数範囲	522 kHz ～ 1629 kHz
周波数ステップ	9 kHz
感度	29 dBμ(28.2 μV)

CDプレーヤー部	
レーザーダイオード	GaAlAs
デジタルフィルター(D/A)	8倍オーバーサンプリング
回転数	500 ～ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz ～ 20 kHz (±1 dB)
高調波歪み率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	105 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	85 dB
MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio 準拠

USB I/F部	
USB規格	USB 1.1/2.0
ファイルシステム	FAT12/16/32
最大供給電流	DC5V ⎓ 1A
MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio 準拠
WAVデコード	Linear-PCM

オーディオ部	
最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W × 4 (4Ω,1kHz, 10%THD以下)
スピーカーインピーダンス	4 ～ 8 Ω
オーディオコントロール	
バス	200 Hz ± 8 dB
ミドル	2.5 kHz ± 8 dB
トレブル	12.5 kHz ± 8 dB

AUX入力	
周波数特性	20 Hz ～ 20 kHz (±3 dB)
入力最大電圧	1200 mV
入力インピーダンス	30 kΩ

電源部 その他	
電源電圧	14.4 V (10.5 ～ 16 V)
最大消費電流	10 A
仕様温度範囲	0 ～ +40 ℃

寸法・質量	
埋込寸法 (W × H × D)	178 × 50 × 158 mm
質量(重さ)	1.1 kg

付属部品	
電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 × 6 mm)	4本
サラネジ (M5 × 7 mm)	4本
セムスネジ (M4 × 8 mm)	1本

● これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

● 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル	0120-2727-87
	携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950
FAX	045-450-2308
住所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間	月曜～金曜：9:30～18:00
	土曜：9:30～12:00、13:00～17:30
	（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

● 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ（www2.jvckenwood.com/cs/service.html）または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。
当社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
https://jp.my-kenwood.com